

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	生涯にわたり学べる社会の実現		課(室)名	生涯学習センター
	施策	生涯学習の推進		電話番号	087-811-6222
	取組方針	学習機会の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	生涯学習推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	市民の多様な学習ニーズに対応するため、少子高齢化や情報化など現代的課題に関する講座や大学等と連携した専門講座、他団体と連携した講座などを開催することにより、市民の生涯学習の振興を図る。				
年度概要	(1) 生涯学習カレッジ 少子高齢化、情報化などの現代的課題を取り上げる講座や大学等と連携した専門的な講座 (2) 生涯学習推進事業 まなびCAN・CSR教室や市民の関心の高い教養・趣味の講座、オンライン講座、イベントなど				
重点取組事業		市長マニフェスト	1-	関連根拠法令	高松市生涯学習センター条例、施行規則

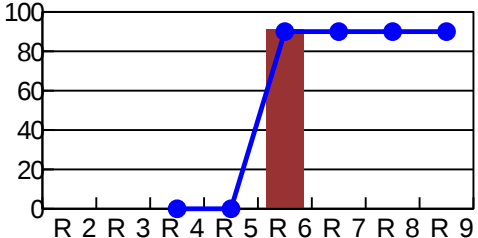
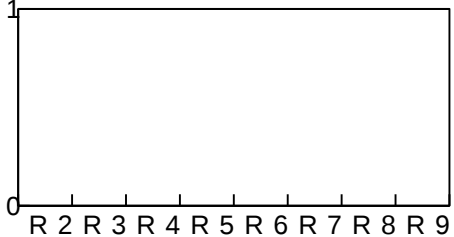
【事業の目的】

対象（何を）	生涯学習に関心のある市民等
意図（どのような状態にしたいか）	生涯学習センターのより効果的な活用と学習機会の提供を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
講座開催回数	回	0	0	198	288	300

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	受講者の満足度	%	目標値 実績値	0 0	0 0	90 91	90	90
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	受講者アンケートでは、満足度は達成している。講座の内容の工夫や改善を求める声もあることから、今後とも更なる充実を図っていく必要がある。			(目標達成度) 101.1%				
				(得点) 35点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
				(目標達成度)				
				(得点)				

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	11,904	12,450	16,952	15,734
(事業費)	[千円]	1,426	1,912	2,516	2,764
(職員人件費)	[千円]	10,478	10,538	14,436	12,970

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	(1) 生涯学習カレッジ 少子高齢化、情報化などの現代的課題を取り上げる講座や大学等と連携した専門的な講座 (2) 生涯学習推進事業 まなびCAN・CSR教室や市民の関心の高い教養・趣味の講座、イベントなど	生涯学習推進事業講師謝金 760千円 O A 実習室パソコン賃借料等 1,605千円 消耗品費等 151千円	総額	2,516	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	538
			一般財源	1,978	
令和 7 年度	(1) 生涯学習カレッジ 少子高齢化、情報化などの現代的課題を取り上げる講座や大学等と連携した専門的な講座 (2) 生涯学習推進事業 まなびCAN・CSR教室や市民の関心の高い教養・趣味の講座、オンライン講座、イベントなど	生涯学習推進事業講師謝金 917千円 O A 実習室パソコン賃借料等 1,651千円 消耗品費等 196千円	総額	2,764	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	1,190
			一般財源	1,574	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

講座開催回数は目標に届かなかった。今後も市民の生涯学習の推進につながる事業となるよう検討していく必要がある。

市民の多様な生涯学習への要望に応える学習ニーズを的確に把握するとともに、既存講座の見直しや新しい講座の企画・開発に努め、講座内容の工夫や改善を進めることにより、講座の充実を図る。

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	生涯にわたり学べる社会の実現		課(室)名	生涯学習センター
	施策	生涯学習の推進		電話番号	087-811-6222
	取組方針	学習機会の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	市民参画促進事業			

【事業全体概要】

事業概要	市民との協働のまちづくりの視点から、市内で活動する団体等に生涯学習の成果を発表する機会を提供するため、学習成果発表の場事業等を実施し、市民参画の充実を図る。				
年度概要	(1) 生涯学習コーディネーター養成講座 (2) 学習成果発表の場事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市生涯学習センター条例、施行規則

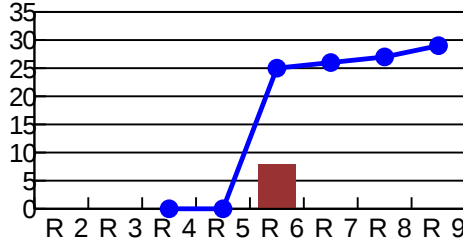
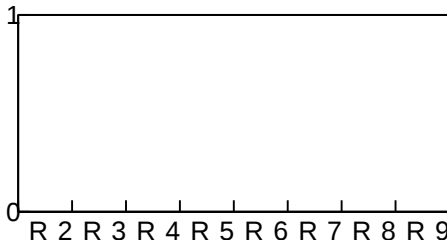
【事業の目的】

対象（何を）	生涯学習に関心のある市民等
意図（どのような状態にしたいか）	市民の行政への参画意識の醸成を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
講座開催回数	回	0	0	22	35	38

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
	学習成果発表の場事業における講座開催回数			回	目標値	0	0	25	26	27	
					実績値	0	0	8			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）										
	講座開催回数は応募者が少なかったため、目標値には届かず、昨年度より減少した。		(目標達成度) 32.0%								
(得点) 11点											
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)			単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
					目標値						
					実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）										
			(目標達成度)								
(得点)											

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	6,092	6,112	8,398	7,550
(事業費)	[千円]	105	90	138	139
(職員人件費)	[千円]	5,987	6,022	8,260	7,411

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	(1) 生涯学習コーディネーター養成講座 (2) 学習成果発表の場事業	市民参画促進事業講師謝金 1 1 7 千円 消耗品費等 2 1 千円	総額	138	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	138	
令和 7 年度	(1) 生涯学習コーディネーター養成講座 (2) 学習成果発表の場事業	市民参画促進事業講師謝金 1 1 8 千円 消耗品費等 2 1 千円	総額	139	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	139	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	C	総合点 (率)	42 / 100 (42 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

講座開催回数は目標に届かず、昨年度より減少した。今後も市民が生涯学習に参加するための学習成果を発表できる場の提供や生涯学習を推進するための人材育成に努める。

生涯学習における市民参画を促進するため、学習成果発表の場事業への応募を促すとともに、全コミュニティセンターの生涯学習推進員に対する研修会の内容の充実を図る。

令和 7年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	生涯にわたり学べる社会の実現		課(室)名	生涯学習センター
	施策	生涯学習の推進		電話番号	087-811-6222
	取組方針	学習機会の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	コミュニティセンター講座事業			

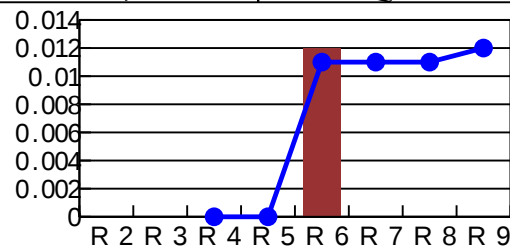
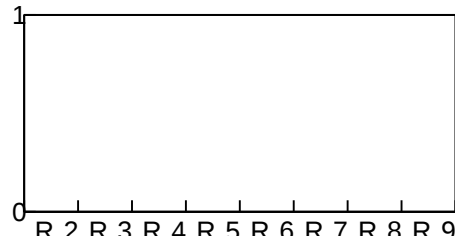
【事業全体概要】					
事業概要	地域住民の多様化した学習要求に応えるため、地域コミュニティセンターにおいて各種講座を開催することにより、学習の機会や場を提供し、生涯学習の充実を図る。				
年度概要	(1) 趣味・実技講座 (2) 教養講座 (3) 子どもの居場所づくりに対応した講座 (4) まなびの場づくりに対応した講座 (5) ブロック別現代的課題講座				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	生涯学習に関心のある市民等
意図（どのような状態にしたいか）	地域のニーズに応じた学習機会を提供することにより、地域住民の生涯学習の推進を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
講座開催回数	回	0	0	4,829	4,959	5,067

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	人口1人当たり受講回数	回	目標値	0	0	0.011	0.011	0.011
			実績値	0	0	0.012		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	人口1人当たりの受講回数については達成することができた。		(目標達成度) 109.1%					
			(得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			(目標達成度)					
			(得点)					

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	23,191	23,589	26,247	24,689
(事業費)	[千円]	16,455	16,815	16,983	16,351
(職員人件費)	[千円]	6,736	6,774	9,264	8,338

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	(1) 趣味・実技講座 (2) 教養講座 (3) 子どもの居場所づくりに対応した講座 (4) まなびの場づくりに対応した講座 (5) ブロック別現代的課題講座	講師謝金コミュニティセンター@5,100円 65回×49館 31回×2館 39回×1館 4回×45館	総額	16,983	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	16,983	
令和 7 年度	(1) 趣味・実技講座 (2) 教養講座 (3) 子どもの居場所づくりに対応した講座 (4) まなびの場づくりに対応した講座 (5) ブロック別現代的課題講座	講師謝金コミュニティセンター@5,100円 60回×49館 26回×2館 34回×1館 4回×45館	総額	16,351	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	16,351	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

今後もコミュニティセンターと連携して、地域における生涯学習の推進を図る。

生涯学習センターで実施する研修会の開催回数や内容を精査することにより、地域で生涯学習活動を実践する生涯学習推進員の人材育成を図るとともに、コミュニティセンターで実施する講座がより実践的・効果的なものとなるよう努める。また、平成27年度から取り組んでいる地域の小中学生向けの「まなびの場」づくりに引き続き取り組む。